

ボランティア伝言板

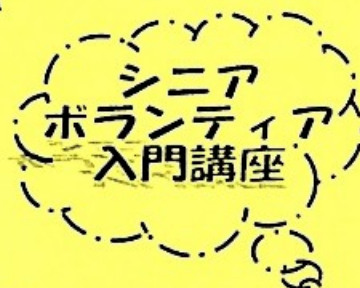


1月

発行 佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135 広島市佐伯区海老園 2-5-28
TEL921-3360 FAX924-2349
平成22年 1月発行



さえき気楽塾

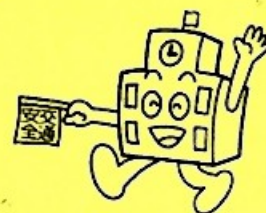


ボランティア活動と一緒にする仲間を作り、活動するグループを作りませんか！
仕事で培った知識や技術をボランティア活動に活かしてみましよう

- ♥日 時：平成22年2月6日（土）～27日（土） 【全4回】 10：00～12：00
- ♥場 所：佐伯区役所 付属棟二階（会議室）【佐伯区海老園二丁目5-28】
- ♥対 象：定年退職者または早期退職者の方（概ね70歳代までの方）
- ♥定 員：30名 【締切り：平成22年2月1日（月）】
- ♥参加費：300円（テキスト代その他）
- ♥主 催：広島市佐伯区社会福祉協議会
- ♥お問い合わせ・申し込み：広島市佐伯区社会福祉協議会 TEL (082) 921-3360
FAX (082) 924-2349



日にち	内 容	講師等
2/ 6（土）	★ボランティアおもしろ講座（講義） 「上手な地域活動のデビュー法」	広島県余暇プランナー協会 理事長 山崎 勇三氏
2/13（土）	★心の元気の作り方 ～ 「自由」「おもしろい」 「創造」がモチベーションを高める（たのしい実技あり）	広島レクリエーション協会 理事長 鍋島 一仁氏
2/20（土）	★先輩ボランティアに聞こう！ （ボランティアの達人からのメッセージ） 運転・学童見守り・演奏活動・物づくり・障がい者パソコン指導 など ★先輩ボランティアによる紙芝居「ボランティアで豊かさ満開！！！」 ★自分の夢を語ろう（参加者しゃべり場）	先輩ボランティア 区社協職員
2/27（土）	★自分の力の掘り起こし （自分を振り返り、活動をイメージする） ★簡単なボランティア計画づくり（特技や趣味を活かし、グループ活動での役割などについて考える）	区社協職員



とび出せおラセン! インタビュー

個人ボランティア

今回は、「ひまわり会」(中途障がい者の会)の皆さんに、お習字を教えていただいている彩が丘在住の三好 寿子さんにお話を伺いました。

Q ボランティア活動のきっかけを教えてください。

A 20年くらい前、知的障がい児施設「広島市明星園」に通園しているお母さんたちに「紙粘土」を教えたことからでしょうかね。「ひまわり会」とのご縁は、三味線の演奏で参加したところ、ちょうどお習字の先生が辞められたということもあり、私がお引き受けしたことからです。

Q いろいろな活動を習っておられますが、他の活動を教えてください。

A 老人クラブ「彩の会」のお世話、ちぎり絵、平和学習の語り部、古切手集めなど・・・

Q ボランティア活動が続いている秘訣は何ですか。

A ふれあいの中で、相手が変わっていく姿を目の当たりにした時はとっても嬉しいです。動きにくくなった手で一生懸命頑張っておられるところを拝見したら、こちらも元気が出てきますね。

Q 活動についての思いを聞かせてください。

A モットーは、「細く長く」です。いろいろなことをしていますが、入り込みすぎると負担もかかるので、適度な距離を保ちながら応援していくというスタンスを取っています。困った時に思い出していただければという思いで活動しています。



三好 寿子さん

ボランティアコーディネーターから一言：三好さんはとても前向きで、「心と活動にバリアをつけない」方です。お会いするたびに元気をいただいています。

★いきいきサロンにおじゃましました★

11月25日(水)、10時から12時まで海老園集会所で月1回開催される「いきいきサロン」におじゃましました。今回は、五日市南包括支援センターの調整で、「元気になる遊びの会社」の西山先生が来られました。手を使う脳のトレーニングやリトミック、じゃんけんゲーム、先生のギター演奏で唱歌を斉唱したりしてとても楽しいひとときでした。

笑いは元気の源ですよ\(^o^)/



皆さん、一生懸命ですよ(;-)



参加者はボランティアも含め15名くらいでした。ボランティアの調整のため同った私も仲間に入れていただけてみなさんと一緒に肩たたきしたりゲームをしたり・・・

参加された方たちは、『涙がでるくらいおかしくて楽しかったよ』『頭が命令したように手が動かんね〜』など帰り際に話されていました。皆さんもお近くのサロンに参加してみませんか!

